20式5.56mm小銃の開発

豊和工業株式會社

■概要

陸上自衛隊の普通科部隊等が装備する小銃について、従来の対着上陸戦闘への対応に加えて離島侵攻事態対処等の多様化する運用場面に対応するために、銃腔の先細り形状等の新しい設計製造技術を確立し20式5.56mm小銃を開発した。

口径	5.56mm
全長	約 851mm（最長） 約 779mm（最短）
質量	約 3.5kg

■特徴及び実現のための取組み

- 火力性の向上
  - 銃腔の先細り形状による弾丸の飛翔安定性向上
  - 銃身の片持ち構造による射弾散布向上
- 耐環境性の向上
  - 浸水等を考慮した自動機構の最適化による作動信頼性向上
  - 部品の材質や表面処理の最適化による耐食性向上
- 拡張性の向上
  - ﾚｰﾙﾏｳﾝﾄｼｽﾃﾑの採用による各種ｱｸｾｻﾘの選択的装着の実現

	FY 2008	FY 2009	FY 2010	FY 2011	FY 2012	FY 2013	FY 2014	FY 2015	FY 2016	FY 2017	FY 2018	FY 2019	FY 2020	FY 2021
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
基礎研究	←	―	―	→										
製品開発					←	―	―	―	―	―	→			
参考品評価								←	→			←	→	
C1契約・納入													←	→